



高松市議会

News No.23

香川洋二 保守系無所属
(獣医師・学芸員)

2010年一般会計予算可決

1451億5600万円

平成22年度第一回定例会は3月4日から25日間の会期で開催され、平成22年一般会計予算1428億1千万円の一般当初予算など51議案は24日原案どおり可決。翌25日は補正予算3億3500万円増額し、人事案件等追加16議案も可決。補正後の一般会計予算総額は1451億5600万円。また、最終日最大会派から、岡内前副市長の突然の辞職に対する緊急質問。市長は「責任を重く受け止める」と答弁。重要な新年度予算審議中の突然の辞任と国政選挙出馬表明は市民・議会に対し無責任という印象を与えた。また、与党幹事長の来高に合わせての辞任という印象はぬぐえない。後任の副市長には岸本泰三市民政策部長。また任期途中辞任した黒川教育長の後任には松井等紫雲中学校校長の選任が行なわれ同意した。予算は裏面を参照。

高松南消防署跡地

救急ステーション設置へ

平成22年4月1日から東八ヶ町にある高松南消防署が多肥下町に移転するに伴い、消防救急体制が手薄になることを踏まえ、地元自治会中心に各種団体が危惧。特に救急隊の存続を要望していたが、4月1日から同跡地に救急車1台と救急隊員を常駐させ、24時間体制の東八ヶ救急ステーションを設置することになった。東八ヶ町の南消防署建物は老朽化が著しいので、2011年までは民間施設を借りて運用。2012年

には建設される新しく救急ステーションに移る。新しい救急車は北消防署から配置され、南消防車所属となる。この結果、北消防署の救急車数は朝日分署の1台とあわせ2台体制になる。現在の救急体制は、



管轄地域が対象ではなく、身近にいる救急車が管轄外であっても現場に向かう。

ステーション設置が決定した理由は鶴尾校区が市内の高齢化率平均21.1%より5ポイント高い26.8%(H20/7)や老人福祉施設が多いなどの理由をあげている。

高松南警察署跡地に新交番建設へ

安心・安全なまちづくりは市民の願い。平成12年7月13日策定の警察刷新の緊急提言では「警察官が1名負担する人数は500名程度まで地方では警察官増員が必要」といわれた。昨年高松南警察署が花ノ宮町から移転



後、栗林校区の交番は公園前のみ。ちなみに栗林校区で警察官1名が受け持つ人口は2,600名余

で基準の5倍。警察機能低下を懸念する地元の要望を受け南警察署跡地は公園前派出所が移転。跡地は3,100㎡の一部を使い鉄筋2階建。敷地360㎡延べ床面積194㎡を予定。この施設にはコミュニティールームや相談室を設置するという。警察官の配置は、現在の1日2名・3交代制の6名体制から日勤の2名を加え8名体制になる。

平成22年度高松市一般会計予算

1451億5600万円

市税の落ち込みと扶助費の増加

扶助費は生活保護法などの法令に基づいた生活保護費や児童手当などの支給等。

